


(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	株式会社 図書館流通センター 東根市公益文化施設 まなびあテラス
実習期間	令和元年 8 月 28 日 ~ 令和元年 9 月 1 日
学生氏名	井上 侑
実習プログラム	<p>< 1 日目 ></p> <ul style="list-style-type: none">・図書館業務 開館準備、新聞準備、本の返却・配架・施設日常点検（図書館） 読み聞かせ準備(本の選定) <p>< 2 日目 ></p> <ul style="list-style-type: none">・図書館業務：開館準備、新聞準備、本の返却・配架・美術館・市民活動支援センター業務 施設日常点検(美術館・市民活動センター) 31日のイベント「ひがしね百物語」の打ち合わせ <p>< 3 日目 ></p> <ul style="list-style-type: none">・図書館業務：開館準備、新聞準備、本の返却・配架 本のフィルムコートかけ（本を補強するシールを貼る作業） 読み聞かせ練習(本の読み方確認)・市民活動支援センター業務 イベント準備(イベントで使用する小物準備、ラベル貼り等) <p>< 4 日目 ></p> <ul style="list-style-type: none">・図書館業務 本の返却・配架、おはなし会での児童への読み聞かせ・図書館・市民活動支援センター業務 イベント1 設営・会場誘導・会場撤収 9月1日のイベント「図書館寄席」準備 <p>< 5 日目 ></p> <ul style="list-style-type: none">・図書館業務：開館準備、新聞準備、本の返却・配架 図書館イベント「図書館寄席」での誘導・会場撤収
学び・気づき (300 字程度)	図書館では新着図書処理や返却作業等の業務全般において引継ぎをしたときに作業をどこまで進めていたか、一目でわかるような工夫が施されていた。時間をとらないスムーズな連携や作業の効率化を大切にすることで、イベントや展示等を考える時間を増やすことができ、それらをより良いものへと練り上げるために使っているということを知った。加えて、日誌についての助言を頂き、書き方の改善を行った際にも、見てくれる相手も読みやすくという心遣いのもとで作成



	<p>する意識を学ぶことが出来た。日常業務やイベント運営、電話対応等々、毎日こなす日常業務に加え、沢山の業務をこなしている忙しいなかで、相手の時間を取りすぎないように形式を工夫して記入する気遣いは、働く現場で活動することで学ぶことが出来た力と考えており、社会人になるに向けての就職意識へと繋がる学びとなった。</p>
<p>今後に向けた 抱負 (200字程度)</p>	<p>毎朝の朝礼後には、新聞準備と前日の県や市の記事切り取りを行った。この業務では、普段新聞を読むことが少ないこともあり、特に市の出来事が書かれた記事を探すことが難しく感じた。今後の就職活動や社会人になること等に向けて、図書館も活用しながら新聞を通して県や市、国の情報収集を行う習慣をつけていかなければと感じた。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>利用者の本探しや閲覧の妨げにならないように返却や整理の作業を行うのは難しく、本に集中せず周りを見なければならず、目が沢山必要な作業だと感じ、本に触れ業務を行いながらも利用者と接しているような気遣いや心持ちが必要だと学んだ。また、図書館にはコーナーを作って展示されている本も多くあり、返却が普通の棚と別になるため返却・配架作業が大変になるのだが、利用者を楽しんで本に触れてもらうために力を注いでいる様子が伺えた。利用者が気持ちよく、楽しく図書館を利用することが出来ているのは、このような細かな気遣いや工夫により環境が整えられているからだと感じた。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	東根市公益文化施設まなびあテラス
実習期間	令和 2 年 2 月 5 日 ~ 令和 2 年 2 月 9 日
学生氏名	須藤 愛加
実習プログラム	<ul style="list-style-type: none">• 本の返却・配架• 開館準備• 絵本の読み聞かせ• 市民活動支援事業の運営補助• 事業記録作成
学び・気づき	<p>図書館の業務は、受付などデスクワークが多いイメージがあったが、雪かきや見回り、返却・配架など立ち仕事も多いことが分かった。本を通して、福祉と連携していることが印象に残っている。東根市社会福祉協議会と連携して、高齢者サロンへ読み聞かせの出張を行ったり、新生児に無料で絵本をプレゼントするブックスタートという事業を行っており、東根市の子育て支援にも参画していることがわかった。図書館の様子を見てみると、高齢者が新聞を読んでいる姿や、子どもを連れのお母さんの姿が多く見受けられ、児童書の貸出数が多かった。このような点から、まなびあテラスは市民の憩いの場のような存在ではないかと思った。</p>
今後に向けた 抱負	<p>実習を通して、自身の積極性が足りていないと感じた。与えられたことをコツコツ積み重ねることも大切だが、自分から行動していくことがこれからは求め</p>



	<p>られるのだと思った。市民活動支援の運営に携わった際に、参加者への対応がうまくできなかつたことが、今回の反省点である。今後の課題として、周囲を見る観察力を身に付け、何か困っていそうだなとか、何か必要としていそうだなと、気配りができるようになりたい。大学生であるこの環境を大切に、勉強をはじめ課外活動も積極的に行ないさまざまな経験をしていきたい。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力</p>	<p>まなびあテラスの魅力はたくさんあるが、そのなかでも気軽に足を運びやすいことが魅力である。誰でも利用でき、貸出や返却が自動化されているため、プライバシーも保護されている。また、自動化したことにより、利用者の本の相談や、受付業務に時間をあてられるため、より利用者との距離が近いことも魅力的である。定期的に、イベントや展示が行なわれているため市民だけでなく県外からの来客も多く、東根市に大きな影響を与えている。まなびあテラスのスタッフの皆さんは親切でわからないことも丁寧に教えてくださるため、とても良い職場環境だと思う。利用者のことを第一に考えて、施設の環境整備を行なっていることも、施設に足を運びやすい一つの理由なのだと思う。</p>
<p>写真（1～3点）</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>

(別紙12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	東根市公益文化施設まなびあテラス
実習期間	令和 2 年 2 月 5 日 ~ 令和 2 年 2 月 9 日
学生氏名	鈴木 日奈子
実習プログラム	<p>1日目 午前 朝礼 開館準備 清掃 返却・配架 施設案内 午後 市民活動支援センター業務説明 事業記録作成 読み聞かせ準備</p> <p>2日目 午前 朝礼 開館準備 清掃 新聞準備 新聞スクラップ 返却・配架 学習室のカード作成 午後 事業記録作成 日常点検 ブックスタートの準備 POP作成</p> <p>3日目 午前 朝礼 開館準備 清掃 返却・配架 学習室のカード作成 事業記録作成 午後 広報記録整理 本のカバーかけ 学習室のカード作成</p> <p>4日目 午前 朝礼 開館準備 新聞準備 新聞スクラップ 返却・配架 2月の予定を黒板に書く作業 午後 読み聞かせ練習 返却・配架 おはなし会</p> <p>5日目 午前 朝礼 開館準備 新聞準備 新聞スクラップ 返却・配架 会場設営 午後 ワークショップ運営補助</p>
学び・気づき (300字程度)	<p>インターンシップでの、本の返却・配架の作業と施設の説明を通して印象に残ったことが2つある。1つ目は、お客様を思いやる気持ちを持つことの大切さだ。本のラベルに色や数字をつけるという細かい配慮があることで、幅広い年齢層のお客様が図書館を快適に利用出来るのだと感じた。2つ目は、新たな施設利用者を増やすための工夫だ。複合施設であるという特徴を生かして、最終的には図書館を繰り返し利用してもらえようにするというものである。行っている4つの活動全ては本に触れてもらうための良いきっかけになると感じた。年代ごとに興味を示すものを考え、イベントを考えることは、どのような場面でも使えると思った。また、様々な視点から物事を見て考えることの大切さを感じる事が出来た。</p>
今後に向けた抱負 (200字程度)	<p>今回のインターンシップでは、自分で疑問に思ったことを質問することで主体性を身に付けたいという目標は達成出来た。インターンシップの中では、自分から行動する場面が多くあり良かったと思う。指示を待つことが無かったため充実したインターンシップになった。作業は初めて行うことばかりで、時間がかかってしまったり、ミスをしてしまうことがあった。これらの失敗を通して作業に慣れることと、ミスをしたときに焦らず対応することの必要性を感じた。今後は、身に付けた主体性を日常生活や学校生活に生かしたい。</p>

<p>インターンシップ をして気づいた、 実習先の魅力 (300字)</p>	<p>インターンシップ期間中に、まなびあテラスの中を見て回る時間があった。その時に感じたことは、誰でも気軽に訪れることが出来る雰囲気があるということだ。まなびあテラスには子供から高齢者の方まで幅広い年齢層の方が訪問していた。まなびあテラスの魅力はゆったりできる、憩いの場のような心地よさだと思った。施設の設計が平屋で、図書館、美術館、市民活動支援センターのどこにでも行きやすい設計になっていることで、例えば、美術館の展覧会を見に来た人がそのついでに図書館も利用出来るというように、知的好奇心が刺激される点もまなびあテラスならではの魅力だと思った。また、面白そう、ここに行ってみたいと思えるような展覧会やワークショップを行っていることはとても魅力的だと思った。</p>
<p>写真 (1～3点)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>おはなし会の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>本のカバーかけの作業</p> </div> </div>